

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム
甲状腺癌の予後予測因子に関する臨床病理学的検討

単施設研究用

1. 研究の対象

1996年4月1日～2015年12月31日の間に川崎医科大学附属病院乳腺甲状腺外科にて甲状腺癌の診断・治療を受けた方。

2. 研究目的・方法

甲状腺癌は比較的予後が良好な癌腫であるが、再発がときにみられ、それらは難治性である。最近、分子標的薬も保険適応になった。再発リスクの予測因子としては、年齢、性別、腫瘍径、周囲浸潤などが利用されているが、精度は高くない。再発リスクの正確な予測は、患者の治療方針の決定に役立つ。そこで、甲状腺癌の再発リスクをより正確に予測するために、臨床病理学的な情報(病期、分化度、BRAF(B-rapidly accelerated fibrosarcoma)、RET(rearranged during transfection)/PTC(papillary thyroid carcinoma)、レプチン、局所療法、全身薬物療法など)の予後予測因子としての有用性を後ろ向きに検討する。研究期間:平成28年4月11日～平成30年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、年齢、性別、癌の進行度、採血結果等

試料: 手術で摘出した組織

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

病院名: 川崎医科大学附属病院

住所: 〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577

電話: 086-462-1111 (内戦 26201)

e-mail: tanakaka@med.kawasaki-m.ac.jp

研究責任者: 川崎医科大学附属病院 乳腺甲状腺外科 田中克浩

5. 利益相反

乳腺甲状腺外科奨学寄付金: アストラゼネカ、中外製薬、エーザイ、武田薬品工業、大鵬薬品工業、日本化薬。個人収入: 武田製薬工業より指導料。本研究課題を実施する関係者には、上記企業より、奨学寄付金・個人収入の受け入れがあるが、利益相反委員会に報告している。なお、これらの企業は本研究課題には直接関係ない企業である。